

SSRI 22-3



金融マンの目で見、識る資料

平成21年度下期 (21年10月～22年3月)

名古屋地方裁判所 競売物件 [開札・落札]分析

開札・落札物件編

平成22年5月

不動産金融のシンクタンク
株式会社 三友システムアプレイザル

不動産金融研究所

SANYU SYSTEM RESEARCH INSTITUTE (SSRI)

TEL 03-5213-9750

FAX 03-5213-9760



この資料は当社のホームページに登載しています

このレポートは地方裁判所が公表した情報に基づいて作成しております。件数、期日、金額等については、現時点のデータと差異がある場合がございますのでご注意ください。また、注意して読んでいただきたい項目については、弊社小冊子「レポートの見方」もございますので、ご希望の方は上記までお申出下さい。

平成21年度下期（平成21年10月から平成22年3月まで）に、名古屋地方裁判所（本庁・一宮並びに岡崎支部扱い。豊橋支部扱いは除く）において、競売の開札日が到来した物件の分析を行った。開札期日到来物件数なので、地裁の発表する競売申立受理件数とは異なる。

————— 目次 —————

☆開札動向

I 開札件数	・・・・・・・・・・	2
II 買受可能価額	・・・・・・・・・・	2

☆落札動向

III 落札物件に対する応札者数	・・・・・・・・・・	4
IV 落札件数・落札件数率	・・・・・・・・・・	5
V 落札価額、落札価額倍率（対買受可能価額）	・・・・・・・・・・	6
★落札価額上位状況（個人・法人）	・・・・・・・・・・	7
VI 公的地価変動率と落札価額倍率（対売却基準価額）	・・・・・・・・・・	7
VII 地域別買受可能価額別落札状況	・・・・・・・・・・	8
VIII 競売取り下げ状況	・・・・・・・・・・	10

☆まとめ

○開札状況

- ・開札件数は4期連続の増加。特に今期は前期比2割増。
- ・「土地付建物」と「マンション」が多い。

○落札状況

- ・応札者数は前期に比べ大幅に増加（4割増）。人数を把握しているH12年以降では最多。特に「マンション」への応札が多い。
- ・落札件数率、落札価額倍率も上昇。